

みんな元気に「輝いて生きる」。それが私達の願いです。

ツイッターで採用情報や
取組みを発信しています。



リアルタイムなホット情報や、
オンライン職場説明会の情報もあります!!
ブログとともに、宜しくお願いいたします。

@ikuseikai_saiyo

MIRAI News

vol.85 2019.1.1発行

発行:社会福祉法人 名張育成会 広報委員会
〒518-0615 名張市美旗中村2326
TEL 0595-65-0271 FAX 0595-65-2936
発行責任者:市川知恵子
編集責任者:宮田義則
編集長:佐伯典昭(株式会社サンエイ)
編集デザイン主任:新井知子(株式会社サンエイ)
題字:千秋育子

どんな社会になったらいいんだろう? 未来を支える、 「おとなりさん(百合が丘小学校)」の社会見学

名張市百合が丘東にあるワークプレイス葉と、百合が丘小学校とは「おとなりさん」どうし。その百合が丘小学校では、自分たちが住む地域に関心を深め、ともに生活するために必要なことを知る学習の一環として毎年、2年生と5年生の児童がそれぞれワークプレイス葉を訪れてくれます。今年も、未来を支える子どもたちをお迎えしました。



百合が丘小学校は、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う「地域学校協働活動」で、「文部科学大臣表彰」された地域活動に熱心な小学校です。



管理栄養士によるヘルシーランチがすっかり有名なカフェ(右手前)は、障害者が得意なことを活かして、職員と一緒に働いています。個性的な企画展を定期的に催すギャラリー(右奥)では、四季の移ろいを肌で感じる中庭(中央奥)と一体となった空間で、創作の数々を演出しています。

ワークプレイス葉は2012年(平成24年)5月、暮らしの中で交流を生み出すことも目的の一つとして、名張育成会の福祉施設として初めて住宅街にオープンしました。開放的な中庭を眺めながらくつろげるカフェやギャラリーがあり、地域の方にも親しんでいただける取組みを行っています。

その目的を汲んでくれたのが百合が丘小学校。この環境を学習に活用したいと、2014年より社会見学を通じた交流が行われています。今年も、「だいすきゆりのまち まちたんけん」という学習で2年生の希望児童が、また「施設の役割を知ろう」という目的で5年生の児童全員が、それぞれワークプレイス葉を訪れてくれました。



西側の建物内にある「キッチン花むすび」というお弁当配食事業では、管理栄養士によるヘルシーなお弁当を作っています。障害者がそれぞれにできることなど役割を持って、職員と一緒に調理しています。



アートに特化した生活介護事業所「アトリエ彩(サイ)」。「三重県障がい者芸術文化祭」など様々な公募展で入選実績を積みんでいます。それぞれの個性を活かす。人には色々な才能がある!児童たちにわかりやすく伝わったようです。



学校に戻って自分たちの考えをまとめたあと、疑問に思ったことを質問する5年生。「利用者さん(障害者)が過ごすしやすいように何か工夫はしていますか?」「どうしてカフェを作ったのですか?」「お給料はいくらですか?」。児童たちの素朴な疑問が社会の未来に役立ってくれる、そんなことを思い、改めて社会見学の大切さを感じました。百合が丘小学校の皆さん、どうもありがとうございました。



取材:広報委員会、田口知恵子(コミュニティFMを通じて、地元情報を日々伝えるナビゲーター。名張市在住。)